

電源管理  
クラウド365



■ 取扱説明書 ■

<代表管理者, 管理者ユーザー編>

明京電機株式会社

## はじめに

弊社製品をご利用ありがとうございます。

電源管理クラウド365は弊社サーバーを経由して、複数台のリブーターの稼働状態の監視と電源制御を一元管理することができるソフトウェアです。

- ・グループのアウトレット操作
- ・グループの仮想アウトレット電源ON
- ・グループのPoEポート電源操作
- ・グループに含まれない個別のアウトレット操作
- ・仮想アウトレットの電源オン
- ・PoEアウトレットの電源状態の変更(オン・オフ・再起動)

### 【メンテナンス情報】

毎日、午前3時から午前4時まではメンテナンスのためサーバーを停止します。メンテナンス中は電源管理クラウド365からの電源制御はできません。電源管理クラウド365でのスケジュール制御もその時間帯を避けて設定してください。(メンテナンス中の電源制御については、リブーター側のスケジュール機能をご利用ください。)

# 目次

はじめに .....	2
目次 .....	3
第1章 セットアップ方法 .....	5
1. 代表管理者設定 .....	6
[1] ログイン .....	6
[2] 利用規約同意 .....	6
[3] 代表管理者の登録 .....	8
[4] ユーザーの登録 .....	10
2. リブーター登録 .....	13
[1] リブーター側の準備 .....	13
[2] リブーターでの「サーバー連携」設定 .....	16
[3] ファームウェアアップデート設定 .....	17
[4] リブーターのアクティベート .....	18
3. アウトレット操作 .....	22
第2章 メニュー .....	23
1. ログイン .....	24
[1] ログイン .....	24
[2] 二段階認証を設定している場合 .....	25
[3] パスワードを忘れた場合 .....	26
2. 一般メニュー .....	28
[1] ダッシュボード .....	29
[2] 表示アイコン, 操作ボタンについて .....	30
[3] 監視異常・途絶発生時の表示 .....	32
[4] 各タイルについて .....	33
[5] アウトレット詳細 .....	37
[6] 電源操作 .....	38
[7] ログ履歴 .....	39
[8] 表示 .....	39
[9] メッセージ一覧 .....	40
3. 管理メニュー .....	41
[1] リブーター・アウトレット .....	41
[2] グループ .....	55
[3] ユーザー管理 .....	59
[4] ユーザー追加 .....	59
[5] ユーザー情報変更 .....	62
[6] ユーザー削除 .....	63
4. ユーザーメニュー .....	65
[1] パスワード変更 .....	65
[2] 二段階認証 .....	67
[3] 設定方法 .....	67
[4] リカバリーコード .....	69
[5] 二段階認証の中止 .....	69
[6] ログアウト .....	70

第3章 通知仕様.....	71
[1] メールによる通知.....	72

# 第1章

## セットアップ方法

# 1. 代表管理者設定

## [1] ログイン

WEBブラウザから、弊社よりご連絡した電源管理クラウド365ページにアクセスします。  
ご登録いただいたメールアドレス、弊社より送付した仮パスワードにてログインします。



## [2] 利用規約同意

本製品の使用にあたっては、初めに利用規約に同意していただく必要があります。

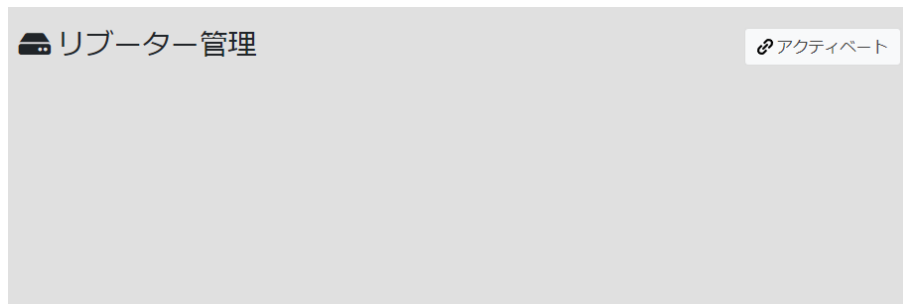
内容を確認の上[利用規約を確認しました。利用規約の全項目に同意します。]をチェックし、[使用を開始する]をクリックします。



次のメッセージが表示されますので、[閉じる]をクリックしてください。



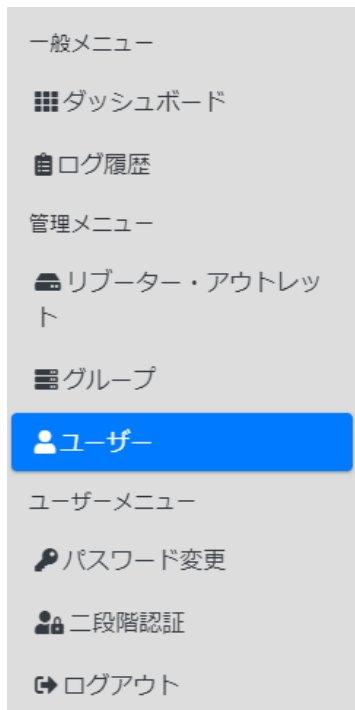
リポーター管理画面が表示されます。



リポーターの登録は、[2.リポーター登録](#) をご覧ください。

### [3] 代表管理者の登録

画面左側のメニューで、管理メニューのユーザーをクリックします。



ユーザー一覧で、編集をクリックします。



代表管理者の名前、メールアドレス、パスワードを変更し、保存をクリックします。  
パスワードに使用できる文字は半角英数字と . / , : + - \_ ! ? % \* = @ です。



ユーザー登録

ユーザー登録

ID	#C12-1	途絶メール	<input type="checkbox"/>
最終ログイン	2022/11/14 15:22:14	異常メール	<input type="checkbox"/>
名前	<input type="text" value="めいきょうたろう"/>	ログイン通知メール	<input type="checkbox"/>
権限	<input type="text" value="管理者"/>		
メールアドレス	<input type="text" value="20221117made_touroku@watchboot.com"/>		
パスワード	<input type="text" value="変更する時のみ入力"/>		

保存

確認のポップアップ画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

この内容を保存します。よろしいですか？

正しく登録されていることの確認として、ログイン時の通知を ON にし、そのメールアドレスにてログインし、実際にそのアドレスにログイン通知メールを受信できるか、ご確認ください。

## [4] ユーザーの登録

続けて、ユーザーを登録することができます。

### (1) ユーザーの追加



画面左上の[ユーザー追加]をクリックします。

ユーザー登録

ID

最終ログイン

名前

名前を入力

権限

一般

メールアドレス

メールアドレスを入力

パスワード

半角英数字8桁以上

途絶メール

通知

異常メール

通知

ログイン通知メール

通知

保存

名前 : 名前を入力します。

権限 : 一般 ・ 管理者 から選択します。(デフォルト 一般)  
ユーザー権限については、次項をご覧ください。

メールアドレス : メールアドレスを入力します。

パスワード : パスワードを半角英数字8桁以上で入力します。



クリックでパスワードの表示・非表示を切り替えます。



クリックでパスワードを自動生成します。

途絶メール : 通知 ・ 非通知 を切り替えます。(デフォルト 通知)

異常メール : 通知 ・ 非通知 を切り替えます。(デフォルト 通知)

ログイン通知メール : 通知 ・ 非通知 を切り替えます。(デフォルト 通知)

メール通知につきましては第4章[1]メールによる通知をご覧ください。

入力が完了しましたら「保存」をクリックします。

登録を行いましたら、各ユーザーに初期パスワードを伝え、各自パスワード変更を行うよう、ご連絡をお願いいたします。

CSVファイルを使用した複数ユーザーの一括取込も可能です。第2章3.[5](2)CSV取込をご覧ください。

注意 メールアドレスがIDとなります。1つのメールアドレスで、複数IDとすることはできません。

## (2) ユーザー権限

ユーザーには「代表管理者」「管理者」「一般」があり、権限が異なります。

	代表管理者	管理者	一般
リポーターのアクティベート	○	○	×
アウトレット登録	○	○	×
グループ登録	○	○	×
スケジュール作成	○	○	×
アウトレット操作	○	○	○
ログ履歴閲覧	○	○	○
ユーザー追加	○	○	×
ユーザー削除	代表管理者以外可	代表管理者以外可	×
パスワード変更	全員	代表管理者以外可	自分のパスワードのみ

ユーザー数は契約によって決定され、代表管理者は必ず1名必要となります。

契約したユーザー数の中であれば、管理者、一般の人数は自由に決定することができます。

注意 代表管理者を管理者や一般ユーザーに変更することはできません。  
代表管理者の変更や連絡先の変更、契約数の変更を希望される場合は、弊社までご連絡ください。(これらの変更に関して、勝手ながら基本的には「月に一度」の対応とさせていただきます。)

### (3) 権限の違いによる, 画面表示の違い

代表管理者, 管理者権限でログインしますと, 管理メニューが表示されます。一般管理メニューでは表示されません。

#### 代表管理者・管理者権限画面



#### 一般権限画面



## 2. リブーター登録

- 本システムで制御・管理したいリブーターをアクティベートし、登録します。

### [1] リブーター側の準備

#### (1) リブーターのアクティベート

リブーター購入後、まずは使用にあたって初めに使用条件に同意していただく必要があります。

設定用PCと本装置とは、LAN用コネクタにLANケーブルで接続します。

PCがオートMDI/MDI-X非対応の場合は、クロスLANケーブルを使用してください。

1) LANやVPN上に192.168.10.1および192.168.10.2のIPアドレスを持つホストがないことを確認します。

2) 設定用PCのIPアドレスとサブネットマスクを以下の通り設定します。

IPアドレス : 192.168.10.2

サブネットマスク : 255.255.255.0

3) 本体前面のDIPスイッチ3をONにします。

(メンテナンスモードになり、IPアドレスが192.168.10.1となります。)

注意      メンテナンスモードの場合、LANの通信速度は10BASE-Tでつながる設定になっている必要があります。

4) 本体前面のRESETスイッチを押します。

5) 設定用PCのWebブラウザを起動します。

http://192.168.10.1 を指定し、本装置にアクセスします。

注意      ブラウザーはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。  
推奨ブラウザは弊社HP「よくある質問」の「ブラウザにはどれを使用すればいいですか?」をご覧ください。

<https://www.meikyo.co.jp/faq/>

6) ブラウザー依存のポップアップ画面が表示されます。

ユーザー名(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力します。

- 7)【ご確認のお願い】の画面が表示されます。内容を確認の上[上記の内容に同意します。]をチェックし、[次へ]をクリックします。

ご確認のお願い

以下の文面をお読みになり、同意される場合のみ  
遠隔制御機能を有効化できます。

**RPC-M4LS**

電気用品安全法により、遠隔操作に伴い感電・事故・傷害の発生する危険がある機器の遠隔操作は禁じられています。

したがって、電気用品の中には、遠隔制御により感電、火災及び傷害の生じる可能性があるものがありますので、そのような機器を、本装置のアウトレットに接続してはなりません。

特に、電気ストーブや電熱器など熱を発生するものは、火災の原因となりますので絶対に接続しないでください。

接続機器が突然動作した時に接続された機器の近傍にいる人が危険になるような機器を接続しないでください。

また、通信回線の故障などにより遠隔制御が行えなくなった場合でも、安全状態が維持されるように、連続運転可能な装置のみを接続してください。接続される機器の安全性に関しては、接続される機器のUSB、PoE給電ポート、接点出力等のアウトレットにも遠隔操作によって危険がないことを

上記の内容に同意します。

次へ

- 8)【メンテナンスモード 機器設定】画面が表示されます。

メンテナンスモード 機器設定

モデル名	RPC-M4LS
バージョン	1.30A.221125
MAC アドレス	00:09:EE:01:57:BB
IP アドレス	<input type="text" value="192.168.10.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
デフォルトゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS サーバーアドレス	<input type="text"/>
DHCP 機能	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
HTTP 機能	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
HTTP ポート	<input type="text" value="80"/>
Telnet 機能	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
Telnet ポート	<input type="text" value="23"/>
通信速度	自動接続 ▼
IP フィルター	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
子機グループ	Disabled ▼
親機MACアドレス	<input type="text" value="00:00:00:00:00:00"/>

適用

- 9)ご利用になるLANに適切なIPアドレスとして
- ・運用時にIPアドレスを固定にして利用する場合、「DHCP機能」を[無効]にチェックしたままで、「IPアドレス」に適切なIPアドレスを入力します。
  - ・DHCPを使用して動的にIPアドレスを割り当てる場合は、「DHCP機能」を[有効]にチェックして、[適用]をクリックします。

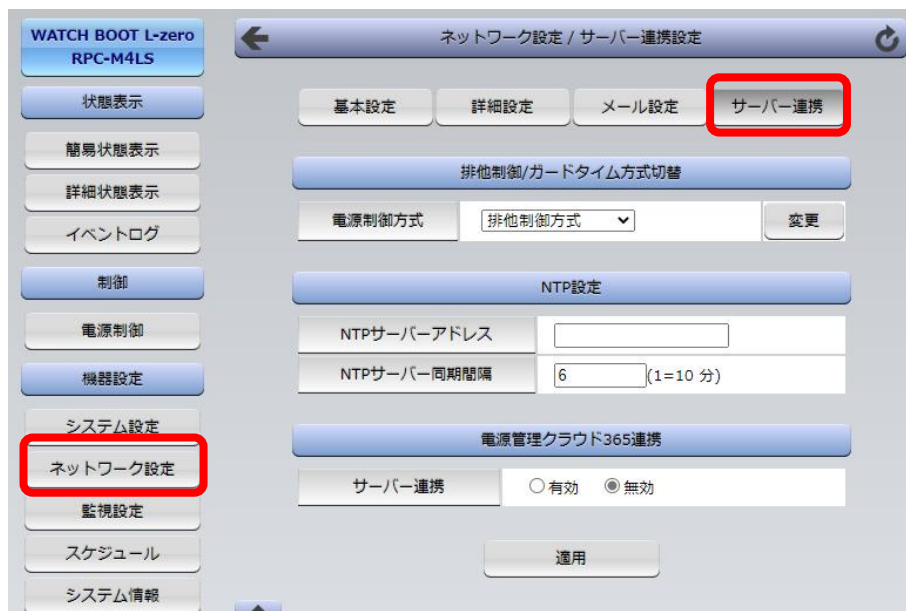
- 10)その他「Telnet機能」など必要に応じて設定を行います。設定が終了しましたら、[適用]をクリックします。
- 11)本体前面のDIPスイッチ3をOFFにします。(運用モードにします。)
- 12)本体前面のRESETスイッチを押します。
- 13)Webブラウザを閉じます。
- 14)設定用PCのIPアドレスを元に戻します。

<p>注意      設定後は、必ず[適用]をクリックし、<u>RESETスイッチを押してください</u>。RESETスイッチを押さないと設定が反映されません。</p>
--

## [2] リブーターでの「サーバー連携」設定

### (1) WEBブラウザからの設定

WEBブラウザから、リブーターに設定したIPアドレスにアクセスをし、「ネットワーク設定」-「サーバー連携」をクリックします。

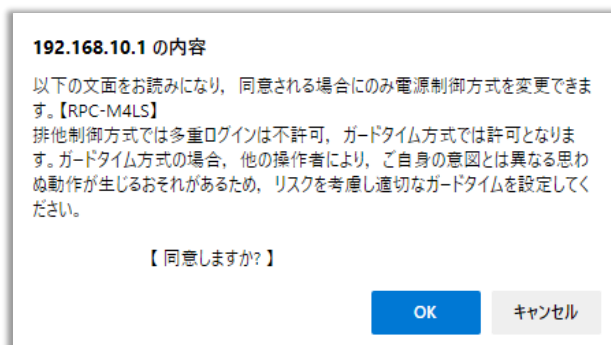


**注意** DHCP機能を有効にした場合は、自動でリブーターに割り当てられたIPアドレスを検索して入力してください。  
リブーターの検索には、弊社ホームページにて公開しております、RPCサーチソフトが便利です。

<https://www.meikyo.co.jp/archive/#rpcsearch>

### (1) 排他制御/ガードタイム方式切替

「電源制御方式」にて[ガードタイム方式]を選択し、[変更]ボタンをクリックします。すると、次のような注意文が表示されますので、内容をよくご確認の上、同意してください。(電源管理クラウド365使用にあたっては[ガードタイム方式]選択必須です。)



その後、「ON/REBOOT 後, ガードタイム(秒)」「OFF 後, ガードタイム(秒)」の設定項目が現れます。ふさわしい数値を設定してください。(デフォルト:10 秒。最小 1 秒を設定可能)



(CPUリセットが促されますが、そのまま<2>、<3>の設定を行って構いません)

## <2> NTP設定

時刻同期ができるよう、NTP サーバーアドレスと NTP サーバー同期間隔を設定してください。  
電源管理クラウド 365 を使用する際は、NTP サーバーによる時刻同期が必須となります。

## <3> 電源管理クラウド365連携

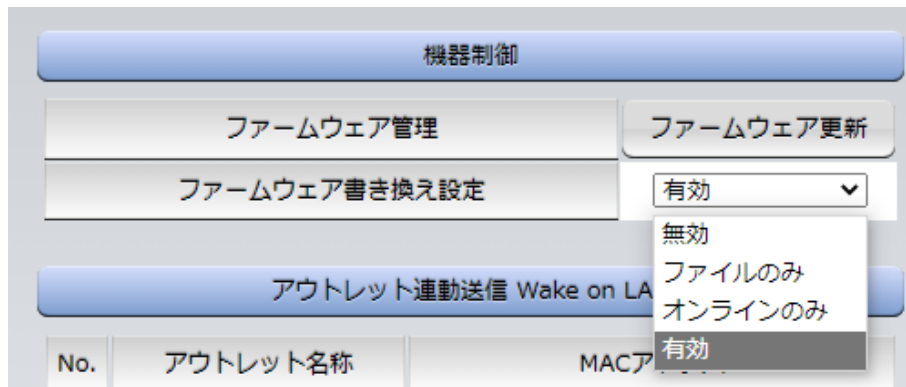
「サーバー連携」を[有効]にします。

[適用]をクリック後、CPUリセットを行います。左サイドバーから「CPUリセット」ページに遷移し、CPUリセットを実行してください。

## [3] ファームウェアアップデート設定

電源管理クラウド365では、リブーターのファームウェアのオンラインバージョンアップデート機能が  
あります。

この機能を使用する場合は、事前に、[システム設定]-[詳細設定]-「機器制御」の「ファームウェア書き  
換え設定」を[有効]または[オンラインのみ]に設定してください。

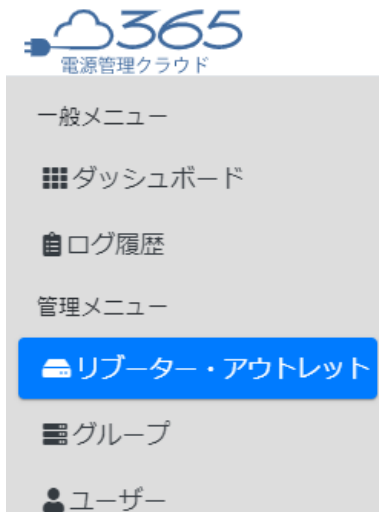


[適用]をクリックします。

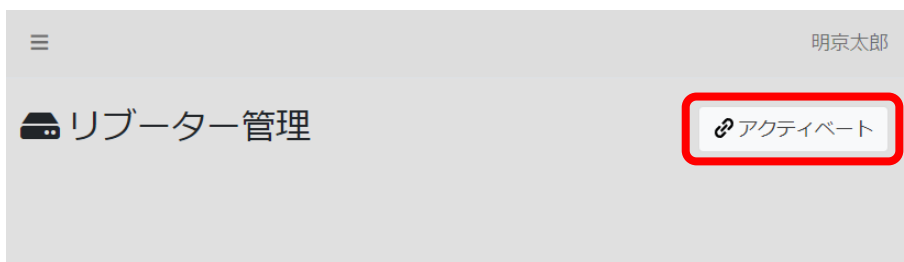
次項にて、リブーターの機器情報を設定しますので、WEB 画面は開いたままにしておいてください。

## [4] リブーターのアクティベート

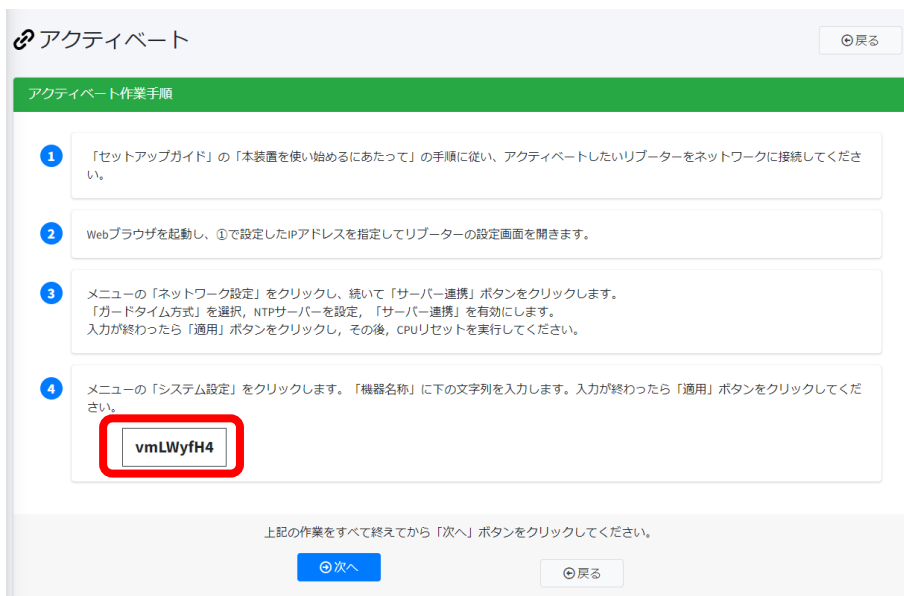
サイドバーにて「リブーター・アウトレット」項目をクリックします。



右上の「アクティベート」を選択します。



表示された画面にて、④に表示されている半角英数 8 文字をコピーします。



開いていたリブーターのWEB画面に戻り、「システム設定」-「基本設定」を開き、「機器名称」にペーストして入力し、[適用]をクリックします。



電源管理クラウド 365に戻り、「次へ」をクリックします。





何秒かで「アクティベート完了」画面に変わります。



「次へ」をクリックすると、登録したリポーターの設定画面となります。



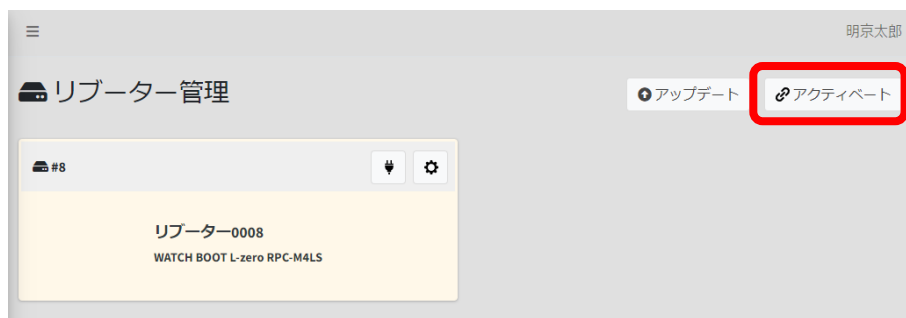
この画面では、リポーターの名称変更、使用切り替え、画像リンクの追加、メモを入力することができます。

使用切り替えはデフォルトで「許可」となっています。  
詳細は第1章2.[1](4)リブーター登録をご覧ください。

編集後、「保存」をクリックすると確認画面が表示されますので「はい」をクリックしてください。



リブーター管理画面が開きますので、続けて複数台のリブーターのアクティベートを行うことができます。



アクティベート済みのリブーターは機器名称の変更が可能です。

### 3. アウトレット操作

アウトレット操作を行うには、左上の3本線をクリックし、メニューを開き、ダッシュボードをクリックします。先程追加した、リブーターのアウトレット操作タイルが表示されます。

アウトレットがONの場合は、OFFボタンと再起動ボタンが表示されます。



アウトレットがOFFの場合は、ONボタンと再起動ボタンが表示されます。



ON, OFF, 再起動ボタンのクリックで、リブーターの電源制御が可能です。

操作後、リブーターがコマンドを受信し電源制御が実行されます。(リブーター側で「OFF遅延」などが設定されている場合、その遅延時間後に実行されます。遅延時間に関してはリブーターのメニュー「システム設定」-「基本設定」-「アウトレット設定」から設定を行ってください。)

リブーターの各アウトレットは、デフォルトで使用切り替えが「許可」となっていますが、仮想アウトレットや、PoEポートはデフォルトで「不可」となっており、初期状態では電源管理クラウド365からの操作を行うことができません。操作を行うためには、個別に使用切り替えを「許可」に変更する必要があります。使用切り替えを行う方法については、第1章2. [1](3)アウトレット登録をご覧ください。

別々に表示されたアウトレット等をグループ化して、一括で操作を行うことが可能です。グループの作成方法については第1章2. [2]グループをご覧ください。

## 第2章

## メニュー

# 1. ログイン

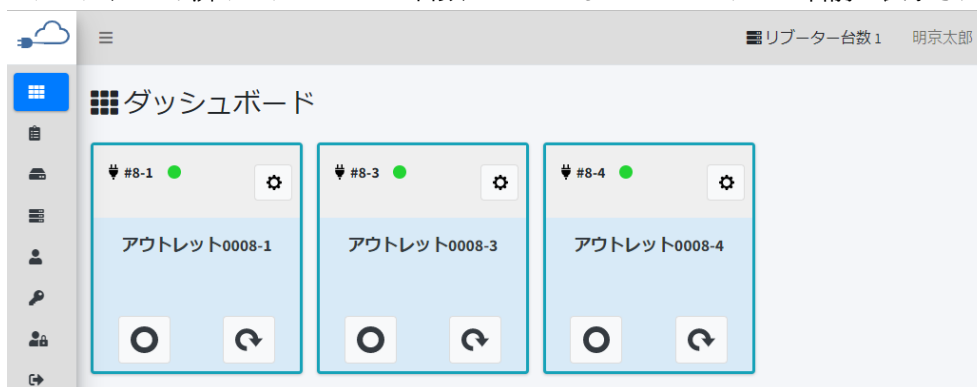
## [1] ログイン

WEBブラウザから、弊社よりご連絡した電源管理クラウド365ページにアクセスし、IDとして登録済みのメールアドレスとパスワードを入力します。



The screenshot shows the login interface for '電源管理クラウド 365'. At the top, there is a logo consisting of a blue cloud with a power plug icon and the text '365 電源管理クラウド'. Below the logo are two input fields: 'メールアドレス' (Email Address) with an envelope icon and 'パスワード' (Password) with a lock icon. A blue button with a right-pointing arrow and the text 'ログイン' (Login) is positioned below the password field. At the bottom of the form, there is a link that says 'パスワードを忘れた' (Forgot Password).

ログインすると、ダッシュボード画面が表示されます。  
右上にアクティベート済みのリブーターの台数とログインしているユーザーの名前が表示されます。





## (1) 利用規約同意

各ユーザーの初回ログイン時は、利用規約同意の画面が表示されます。

本製品の使用にあたっては、初めに利用規約に同意していただく必要があります。

内容を確認の上[利用規約を確認しました。利用規約の全項目に同意します。]をチェックし、[使用を開始します]をクリックします。

使用を開始する前に、下記の利用規約をご確認ください。

**遠隔電源制御クラウドサービス  
利用規約**

**第1条 (目的)**  
この利用規約（以下単に「**本利用規約**」といいます）は、明電電機株式会社（以下「**当社**」といいます）が提供する、クラウド上で遠隔電源制御ができるためのサービスを利用者（次条で定義）が利用するにあたっての利用条件を定めるものです。

**第2条 (定義)**  
以下に定める用語は、以下のとおりの意味を持つものとします。  
(1) **当社ウェブサイト**  
本サービスの提供に関連し、当社が管理運営するウェブサイトをいいます。  
(2) **個別規定**  
本利用規約に付随して当社ウェブサイトにおいて定める付随規約、料金表、ガイドライン、及びその他当社が随時定めるドキュメントのほか、必要に応じて当社と利用者の間で個別に締結する契約、特約、他の合意・契約の総称又は一部をいいます。  
(3) **本利用規約等**  
本利用規約及び個別規定の総称又は一部をいいます。  
(4) **本サービス**  
本利用規約等に基づき当社が提供する、当社が定めるサービスをいいます。  
(5) **利用申込者**  
本サービスの利用を望み、必要事項を記入して本サービスの利用を申し込んだ法人、団体、又は個人企業をいいます。  
(6) **利用者**  
利用申込者のうち、当社が本利用規約等に基づき本サービスを利用することを承諾した法人、団体、又は個人企業をいいます。  
(7) **利用契約**  
利用申込者と当社の間で成立する契約であって、本利用規約等の条件に基づき当社が本サービスを提供し、利用申込者が本サービスの提供を受けることを内容とした契約をいいます。

利用規約を確認しました。利用規約の全項目に同意します。

➡ 使用を開始する 🚫 使用しない

## [2] 二段階認証を設定している場合

二段階認証を設定している場合は、以下の画面が表示されますので、認証システムに表示されている確認コードを入力します。（二段階認証の設定に関しては、第2章4.[2]二段階認証をご参照ください。）



二段階認証

確認コードを入力してください。

確認コード

確認 リカバリーコード

### [3] パスワードを忘れた場合

パスワードがわからなくなった場合は、[パスワードを忘れた]をクリックします。

表示された画面に、IDとして登録済みのメールアドレスを入力し、[パスワードリセットリンクを送信]をクリックします。



The screenshot shows the top part of the password reset page. At the top is the logo for '365 電源管理クラウド' (365 Power Management Cloud), which consists of a blue cloud icon with a power plug on the left and the number '365' in a large blue font, with '電源管理クラウド' written below it. Below the logo is a white box with a blue border containing the text 'パスワードをリセットする' (Reset Password). Underneath this is a text input field with the placeholder text 'メールアドレス' (Email Address) and a small envelope icon on the right. At the bottom of the box is a blue button with a white arrow icon and the text 'パスワードリセットリンクを送信' (Send Password Reset Link).



This screenshot shows the same password reset page as above, but with a green success message box. The message box is green with white text that reads 'パスワードリマインダーを送信しました。' (Password reminder sent). The rest of the page, including the logo, the 'パスワードをリセットする' header, the email input field, and the 'パスワードリセットリンクを送信' button, remains the same as in the previous screenshot.

送信されたメールを開き, IDとして登録済みのメールアドレス, 新しく設定するパスワードを入力し, [パスワードをリセットする]ボタンをクリックしてください。



電源管理クラウド 365

パスワードをリセットする

メールアドレス 

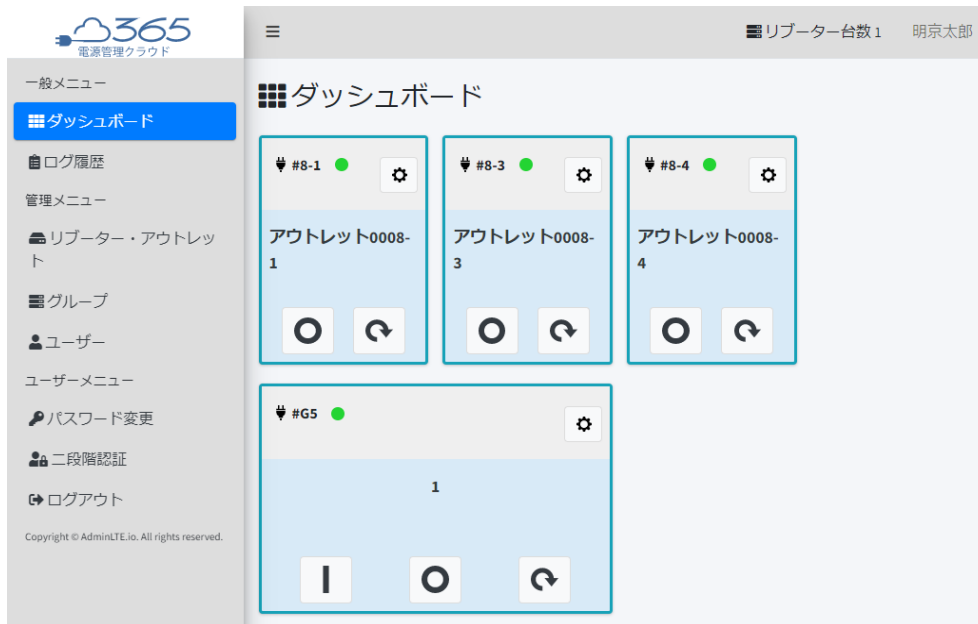
パスワード 

もう一度入力 

 パスワードをリセットする

## 2. 一般メニュー

左上の3本線をクリックすると、左側にメニュー画面が開きます。



## [1] ダッシュボード

### (1) 表示

ダッシュボードには、以下のタイルが表示されます。

- ①アウトレット
- ②仮想アウトレット
- ③PoEポート
- ④グループ



①については、リブーターをアクティベートすると表示されますが、②③についてはアウトレット登録にて使用切り替えを許可にすると表示されます。(3.[1](1) 1)アウトレット登録参照)

④については、グループを作成すると表示されます。(3.[2]グループ参照)

●数字→アルファベット→五十音順に自動的に並びます。「異常」「途絶」が発生すると、それらは先頭に表示されます。

表示されたタイルから以下の操作ができます。

- ・アウトレット操作
- ・仮想アウトレットの電源オン
- ・PoEアウトレットの電源状態の変更(オン・オフ・再起動)
- ・グループのアウトレット操作
- ・グループの仮想アウトレット電源オン
- ・グループのPoEポート電源操作

また、タイルの中心部分をクリックすることで、アウトレットの詳細や、グループについてはグループに含まれた個別のアウトレットの操作や詳細を確認することができます。(本項<7>アウトレット詳細参照)

## [2] 表示アイコン, 操作ボタンについて

表示アイコン	内容	詳細
	アウトレット	リブーターのアウトレットを示します。
	仮想アウトレット	リブーターの仮想アウトレットを示します。
	PoEポート	リブーターのPoEポートを示します。 (一部機種のみ対応)
	電源オン	リブーターのアウトレットがオンの場合に表示されます。 操作から反映されるまで数秒かかります。
	電源オフ	リブーターのアウトレットがオフの場合に表示されます。 操作から反映されるまで数秒かかります。
	途絶	リブーターとの通信がされていない場合に表示されます。途絶時, 解消時共に, 表示が反映されるまで数分かかります。 仮想アウトレット, PoEポートのアウトレット詳細には, 通信が行われていても常に途絶で表示されます。
	警告	リブーターに通信の途絶や監視異常が発生した際に表示されます。アウトレット詳細またはアウトレット登録を開くと消えます。
	途絶	リブーターとサーバーの通信が行われていない場合に表示されます。
	監視異常	リブーターに監視異常が発生している場合に表示されます。

操作ボタン	内容	詳細
	電源オンボタン	電源をオンにする場合にクリックします。
	電源オフボタン	電源をオフにする場合にクリックします。
	再起動ボタン	電源を再起動する場合にクリックします。
	仮想アウトレットオンボタン	仮想アウトレットをオンにする場合にクリックします。
	PoEポート操作表示ボタン	クリックすると、PoEポートの電源操作ボタンが表示されます。
	スケジュールボタン	スケジュールが設定されたタイルに表示されます。 設定を行う際にクリックします。 一般ユーザーは設定されたスケジュールの参照のみ可能です。
	設定ボタン	設定を行う際にクリックします。 一般ユーザーは表示されません。
	アウトレット設定ボタン	アウトレット管理画面を開く際にクリックします。 一般ユーザーは表示されません。

### [3] 監視異常・途絶発生時の表示

リポーターに監視異常が発生した場合は赤(「異常」)、リポーターの電源が入っていない場合や、通信ができない場合は黄(「途絶」)で表示され、あわせて異常や途絶が発生しているアウトレット数と異常・途絶ログが表示されます。(「異常」「途絶」のタイルがない場合(全て正常時)は、この異常・途絶数表示や異常・途絶ログは表示されません。)

また、監視異常や途絶が発生しているタイルは先頭に移動します。(監視異常と途絶では、監視異常が優先されます)

監視異常や途絶が解消した場合は通常表示に戻ります。



なお、グループに含まれているアウトレットに途絶と異常が両方発生している場合、タイル表示は異常が優先となり、赤で表示されます。

監視異常時、ログには「異常発生 異常状態コードx」と表示されます。

xの部分の数字によって、どの監視での異常かを判別できます。

- 101→Ping監視
- 102→メール受信サーバー監視
- 103→Port監視
- 104→ハートビート監視
- 105→温度監視

**注意** 仕様上、異常や途絶が発生した場合、または解消した場合、電源管理クラウド365への反映までに、1分以内のタイムラグが発生します。



## [4] 各タイルについて

### (1) 個別のアウトレット



電源ONまたはOFF,再起動ボタンをクリックすると,電源制御を行うことができます。

リブーターをアクティベートするとデフォルトで表示されます。

中心部分(アウトレット名称が書かれている部分)をクリックすると,アウトレット詳細が表示されます。アウトレット詳細については<7>アウトレット詳細をご覧ください。

右上の歯車マークでアウトレット登録メニューが開きます。アウトレット登録メニューについては2.[1](3)アウトレット登録をご覧ください。

### (2) 個別の仮想アウトレット

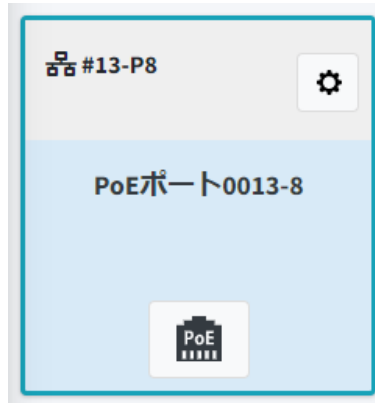


WoLボタンをクリックすると,リブーターに設定済みのマジックパケットを送信し,Wake on LAN対応の機器を起動することができます。

中心部分(仮想アウトレット名称が書かれている部分)をクリックすると,アウトレット詳細が表示されます。アウトレット詳細については<7>アウトレット詳細をご覧ください。

デフォルトではダッシュボードに表示されません。管理メニューの「リブーター・アウトレット」-「アウトレット管理」で「使用切り替え」を「許可」にする必要があります。表示の仕方については2.[1](4)リブーター登録をご覧ください。

### (3) 個別のPoEポート



PoEボタンをクリックすると、以下の画面が開きます。



電源オン、電源オフ、再起動のボタンを押すことで、リブーターに設定済みのPoEポートの電源状態の変更(電源ON・OFF・再起動)ができます。

中心部分(PoEポート名称が書かれている部分)をクリックすると、アウトレット詳細が表示されます。アウトレット詳細については<7>アウトレット詳細をご覧ください。

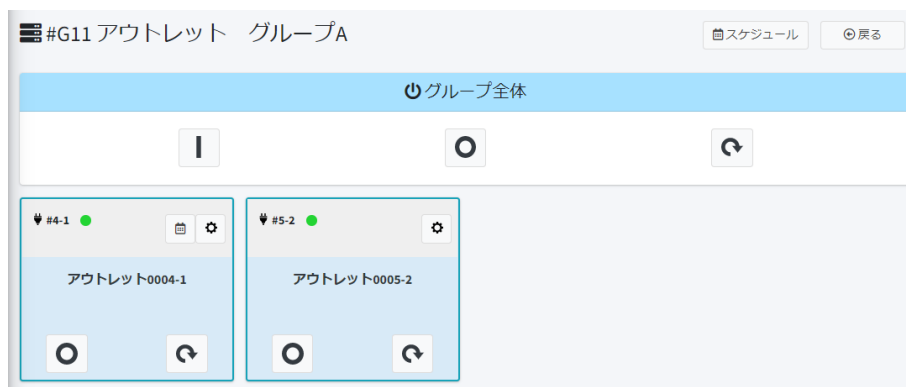
デフォルトではダッシュボードに表示されません。管理メニューの「リブーター・アウトレット」-「アウトレット管理」で「使用切り替え」を「許可」にする必要があります。表示の仕方については2.[1](4)リブーター登録をご覧ください。

### (4) アウトレットのグループ



管理メニューの「グループ」でアウトレットのグループを作成することができます。作成については2.[2]グループをご覧ください。

電源オン・オフ、再起動ボタンでグループ全体の電源操作を行うことができます。タイトルの中心部分クリックでグループ全体の他、個別アウトレットの操作も可能です。



グループに表示された個別タイトルは(1)個別のアウトレットと共通です。  
 右上のスケジュールボタンで、グループのスケジュールを作成することができます。  
 スケジュール作成には2.[1](3)<4>スケジュールをご覧ください。

### (5) 仮想アウトレットのグループ



管理メニューの「グループ」で仮想アウトレットのグループを作成することができます。作成については2.[2]グループをご覧ください。

WoLボタンでグループ全体の電源操作を行うことができます。タイトルの中心部分クリックで、個別の仮想アウトレットの操作も可能です。



グループに表示された個別タイトルは(2)個別の仮想アウトレットと共通です。  
 右上のスケジュールボタンで、グループのスケジュールを作成することができます。  
 スケジュール作成には2.[1](3)<4>スケジュールをご覧ください。

## (6) PoEポートのグループ



管理メニューの「グループ」でPoEポートのグループを作成することができます。作成については2.[2]グループをご覧ください。

PoEボタンでグループ全体の電源操作を行うことができます。タイルの中心部分クリックで、個別のPoEポートの操作も可能です。



グループに表示された個別タイルは(3)の個別のPoEポートと共通です。

右上のスケジュールボタンで、グループのスケジュールを作成することができます。

スケジュール作成には2.[1](3)<4>スケジュールをご覧ください。

## [5] アウトレット詳細

個別アウトレット、仮想アウトレット、PoEポートのタイトルの中心部をクリックすると、アウトレット詳細の画面が開きます。

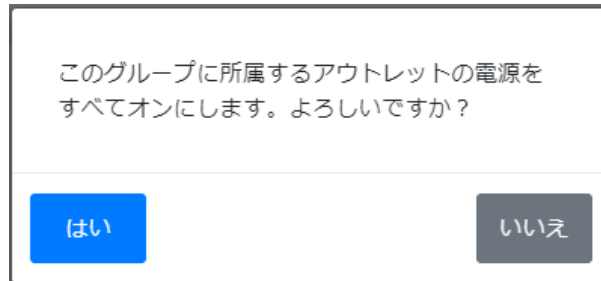


- 状態 : 電源状態が文字と色で表示されます。  
仮想アウトレット, PoEポートは状態の表示はありません。  
電源ON : 緑  
電源OFF : 黒  
途絶 : 黄  
異常 : 赤(異常の場合は, 電源状態もあわせて表示されます)
- アウトレットメモ : メモとして文字を入力することができます。
- 登録情報 : リブータのMACアドレスが表示されます。
- 機種名 : リブータの機種名が表示されます。
- デバイスNo. : リブータのデバイスNo.が表示されます。
- アウトレットNo. : アウトレットNo.が表示されます。
- デバイス名称 : 登録されたデバイス名称が表示されます。
- アウトレット名称 : 登録されたアウトレット名称が表示されます。
- 操作ボタン : アウトレットONの場合はOFFと再起動ボタンが表示されます。  
アウトレットOFFの場合はONと再起動ボタンが表示されます。
- アウトレットログ : 対象のアウトレットのログが表示されます。(監視異常, 途絶発生・解消, 制御内容)

## [6] 電源操作

オン, オフ, 再起動の操作ボタンをクリックすると確認の画面が表示されます。  
「はい」をクリックすることで電源操作が行われます。  
「いいえ」をクリックすれば電源操作は行われません。

表示例



この後、電源状態が個別タイトルまたはグループタイトルに反映されます。  
以下のメッセージが表示された場合は内容に応じて対策を行ってください。

リポーターからの応答を確認できませんでした	リポーターの通信状態を確認してください。 通信状況によっては正しく電源操作されたにもかかわらず表示される場合がありますので、タイトルの電源状態表示にて操作結果を確認してください。
リポーターが下記の実行結果を返しました Last command is pending. Command failed	直前のコマンド実行中の為、電源操作が行われませんでした。 再度電源操作を行ってください。
リポーターが下記の実行結果を返しました Command failed. Select the appropriate mode	リポーター側の設定の為、電源操作が行われませんでした。 リポーターの設定を行ってください。

## [7] ログ履歴

電源管理クラウド365の電源操作履歴、リブーターの監視異常、リブーターとサーバーの通信途絶状態について、ログ履歴で確認することができます。

## [8] 表示

メニューを開き、一般メニューのログ履歴をクリックします。

ログ履歴

ログ履歴

日付範囲（～から）：  
2022/06/01

日付範囲（～まで）：  
2022/08/05

ID:  
# 1-1

名称:  
名称を入力

検索  
クリア

日時	ID	名称	メッセージ
2022/08/04 17:08:33	#1-1	アウトレット0001-1	電源オン
2022/08/04 17:08:01	#1-1	アウトレット0001-1	電源オン
2022/08/04 17:06:58	#1-1	アウトレット0001-1	電源オン
2022/08/04 17:02:33	#1-1	アウトレット0001-1	電源オン
2022/08/04 16:56:51	#1-1	アウトレット0001-1	電源オン
2022/08/04 16:55:21	#1-1	アウトレット0001-1	電源オン
2022/08/04 16:55:07	#1-1	アウトレット0001-1	電源オフ
2022/08/04 16:54:53	#1-1	アウトレット0001-1	電源オン
2022/08/04 16:54:15	#1-1	アウトレット0001-1	電源オン
2022/08/04 16:01:32	#1-1	アウトレット0001-1	電源オン

32件中 1～10件を表示

前 1 2 3 4 次

- 日時 : イベントが発生した日時が表示されます。  
日時はサーバーの日時となり、リブーターに表示されるログと若干のずれが生じる場合があります。
- ID : リブーター管理番号とアウトレットの番号が表示されます。
- 名称 : アウトレットの名称が表示されます。
- メッセージ : 発生したイベントが表示されます。

ログの履歴は、日時、アウトレットに付与されているID、アウトレット名称で絞り込み検索することができます。

一度に表示できるログの件数は500件までとなります。

**注意** メッセージのうち、電源オン、電源オフ、リブートに関しては、電源管理クラウド365からのコマンドの実行履歴を示します。よって、通信状態やリブーター側の設定によって実行に失敗した場合は、必ずしもリブーターの電源状態と一致しません。電源状態のログにつきましては、リブーターのログをご確認ください。

## [9] メッセージ一覧

メッセージ一覧表

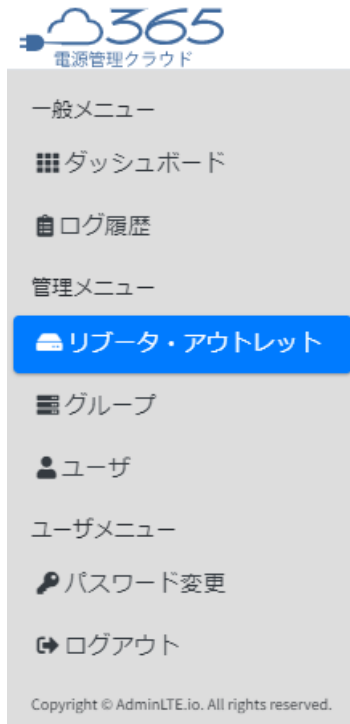
メッセージ	説明
ログイン:[名前]	電源管理クラウド 365 にログインしました。
ログアウト:[名前]	電源管理クラウド 365 からログアウトしました。
電源オン	アウトレットにオンコマンドを実行しました。(仮想アウトレット,PoE ポートを含みます)
電源オフ	アウトレットにオフコマンドを実行しました。(PoE ポートを含みます)
リブート	アウトレットに再起動コマンドを実行しました。(PoE ポートを含みます)
異常発生 異常発生コード*	リブーターに監視異常が発生しました。 *部分は,101~105 となります。 101:Ping 監視 102:メール監視 103:ポート監視 104:HB 監視 105:温度監視
異常解消	リブーターの監視異常が解消されました。
途絶発生	リブーターとサーバーの通信ができない状態です。 (リブーターの主電源が切れている場合も途絶となります。)
途絶解消	リブーターとサーバーの途絶が解消されました。



## 3. 管理メニュー

### [1] リポーター・アウトレット

左上の3本線をクリックすると、左側にメニュー画面が開きます。  
「管理メニュー」の「リポーター・アウトレット」をクリックすると、リポーター管理画面が開きます。



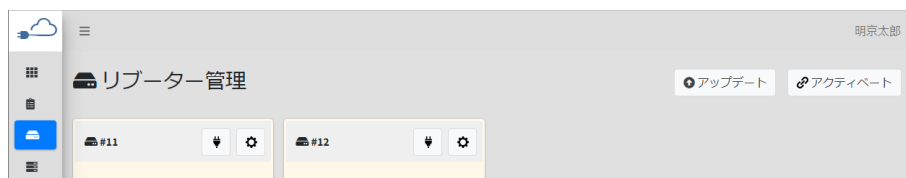
#### (1) リポーター管理

アクティベート済みのリポーターがすべて表示されます。



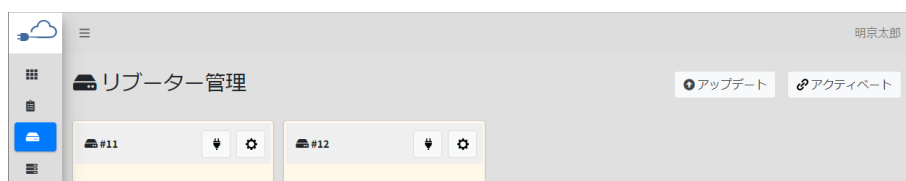
リポーター番号	:リポーターの登録順に#1から振られます。(変更不可)
デバイス名称	:設定画面から名称を変更できます。
機種名	:機種名が表示されます。(変更不可)
アウトレット管理	:クリックでアウトレット管理メニューが開きます。
設定	:クリックでリポーター登録メニューが開きます。

右上のアクティベートボタンで、リポーターを新規に追加できます。  
アクティベートについては、第1章1. [2](4)リポーターのアクティベートをご覧ください。

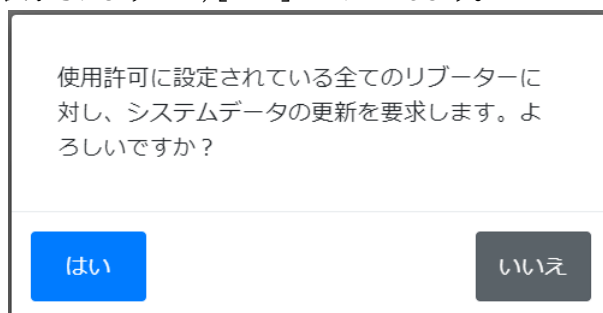


右上のアップデートボタンで、登録されている全リポーターに関するアップデートを行うことができます。

**注意** アップデートが必要な場合のみ、アップデートボタンが表示されます。



ポップアップ画面が表示されますので、[はい]をクリックします。



ポップアップ画面が表示されますので、[閉じる]をクリックします。



## 〈1〉 アウトレット管理

タイトル右上のコンセントプラグマークをクリックします。



対象のリポーターで設定可能なアウトレット, 仮想アウトレット, PoEポートが一覧で表示されます。



リポーターによってアウトレット数やPoEポートの有無が異なります。  
使用切り替えが不可となっているアウトレット類はグレーで表示されます。

### 1) アウトレット登録

設定したいアウトレットの右上の歯車マークをクリックします。



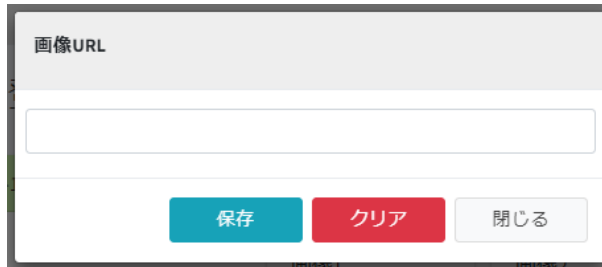
## 2) アウトレット登録(アウトレット)

- 登録情報 : リポーターのMACアドレスが表示されます(変更不可)
- 機種名 : リポーターの機種名が表示されます(変更不可)
- デバイスNo. : リポーターのデバイスNo.が表示されます(変更不可)
- アウトレットNo. : リポーターのアウトレット番号が表示されます。(変更不可)  
リポーター背面に印刷で表示されたアウトレット番号となります。  
リポーターのメニューで「システム設定」-「基本設定」-「アウトレット設定」をご確認ください。

アウトレット設定					
No.	アウトレット名称	OFF	REBOOT	ON	START
1	Outlet1	20	10	1	1
2	Outlet2	0	10	2	2

- デバイス名称 : リポーター登録で設定したデバイス名称が表示されます。  
(リポーター側の「機器名称」とは連動しません。本サービスでの登録名称となります。)
- アウトレット名称 : アウトレット名称を登録することができます。  
デフォルト アウトレット[デバイス番号]-[アウトレットNo.]  
(リポーター側の「アウトレット名称」とは連動しません。本サービスでの登録名称となります。)
- 使用切り替え : 「許可」で電源管理クラウド365からアウトレットの操作が可能になります。  
デフォルト 許可  
「不可」に切り替えることによりダッシュボードに表示されなくなります。  
「不可」に切り替えても、制限されるのは電源管理クラウド365からの操作のみで、リポーターでのアウトレット電源制御は行うことができます。
- デバイスメモ : リポーター登録で設定したデバイスメモが表示されます。
- アウトレットメモ : メモを入力することができます。
- 画像1~3 : 画像URLをクリックするとURL登録画面が開きます。  
表示したい画像をサーバーなどに格納し、そこへのURLを入力して保存をクリックすると画像が表示されます。(本サービスのサーバーに画像を格納する

仕様にはなっておりません。ご了承ください。)



スケジュール : アウトレットごとにスケジュールを設定することができます。詳しくは、〈2〉スケジュールをご覧ください。

入力が終わりましたら、「保存」をクリックしてください。



確認画面が表示されますので「はい」をクリックします。

### 3) アウトレット登録(仮想アウトレット)



登録情報 : リブータのMACアドレスが表示されます(変更不可)  
機種名 : リブータの機種名が表示されます(変更不可)  
デバイスNo. : リブータのデバイスNo.が表示されます(変更不可)  
アウトレットNo. : リブータに設定された仮想アウトレット番号が表示されます。(変更不可)  
リブータのメニューで「システム設定」-「詳細設定」-「仮想アウトレット設定」  
をご確認ください。

仮想アウトレット設定 [Wake on LAN]			
No.	仮想アウトレット名称	MAC アドレス	遅延(秒)
1		00:00:00:00:00:00	0
2		00:00:00:00:00:00	0
3		00:00:00:00:00:00	0

- デバイス名称 : リブーター登録で設定したデバイス名称が表示されます。  
(リブーター側の「機器名称」とは連動しません。本サービスでの登録名称となります。)
- アウトレット名称 : アウトレット名称を登録することができます。  
デフォルト 仮想アウトレット[デバイス番号]-[アウトレットNo.]  
(リブーター側の「仮想アウトレット名称」とは連動しません。本サービスでの登録名称となります。)
- 使用切り替え : 「許可」で電源管理クラウド365からアウトレットの操作が可能になります。  
デフォルト 不可  
「許可」に切り替えることによりダッシュボードに表示されます。  
「不可」のままでも、制限されるのは電源管理クラウド365からの操作のみで、リブーターからの仮想アウトレットONは行うことができます。
- デバイスメモ : リブーター登録で設定したデバイスメモが表示されます。
- アウトレットメモ : メモを入力することができます。
- 画像1~3 : 画像URLをクリックするとURL登録画面が開きます。  
表示したい画像のURLを入力して保存をクリックすると、画像が表示されます。

- スケジュール : アウトレットごとにスケジュールを設定することができます。  
詳しくは、〈2〉スケジュールをご覧ください。

入力が終わりましたら、「保存」をクリックしてください。

確認画面が表示されますので「はい」をクリックします。

#### 4) アウトレット登録(PoEポート)

- 登録情報 : リブータのMACアドレスが表示されます(変更不可)
- 機種名 : リブータの機種名が表示されます(変更不可)
- デバイスNo. : リブータのデバイスNo.が表示されます(変更不可)
- アウトレットNo. : リブータのアウトレット番号が表示されます。(変更不可)  
リブータ背面に印刷で表示されたアウトレット番号となります。  
リブータのメニューで「システム設定」-「基本設定」-「アウトレット設定」をご確認ください。


PoE機器設定				
No.	PoE機器名称	制御	HUB番号	ポート番号
1	PoeDev1	無効	1	0
2	PoeDev2	無効	1	0

- デバイス名称 : リブータ登録で設定したデバイス名称が表示されます。  
(リブータ側の「機器名称」とは連動しません。本サービスでの登録名称となります。)
- アウトレット名称 : PoE給電ポート名称を登録することができます。  
デフォルト PoEポート[デバイス番号]-[アウトレットNo.]  
(リブータ側の「PoE機器名称」とは連動しません。本サービスでの登録名称となります。)
- 使用切り替え : 「許可」で電源管理クラウド365からアウトレットの操作が可能になります。  
デフォルト 不可  
「許可」に切り替えることによりダッシュボードに表示されます。  
「不可」のままでも、制限されるのは電源管理クラウド365からの操作のみで、リブータからのPoEポートの給電制御は行うことができます。
- デバイスメモ : リブータ登録で設定したデバイスメモが表示されます。
- アウトレットメモ : メモを入力することができます。
- 画像1~3 : 画像URLをクリックするとURL登録画面が開きます。  
表示したい画像のURLを入力して保存をクリックすると、画像が表示されます。



スケジュール : アウトレットごとにスケジュールを設定することができます。詳しくは、〈2〉スケジュールをご覧ください。

入力が終わりましたら、「保存」をクリックしてください。



確認画面が表示されますので「はい」をクリックします。

## 〈2〉 スケジュール

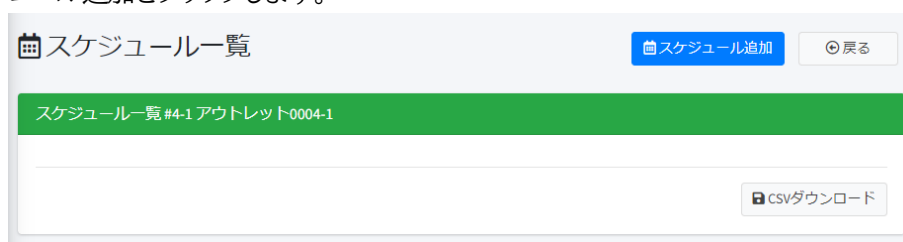
アウトレットごとにスケジュールを登録することができます。

アウトレット登録画面の右上のスケジュールボタンをクリックします。

仮想アウトレット, PoEポートも共通ですが, 仮想アウトレットはオンのみ有効です。



スケジュール追加をクリックします。





スケジュール登録 戻る

スケジュール登録 #4-1 アウトレット0004-1

登録情報  
00:09:EE:02:89:A6

機種名  
PoE BOOT nino PoE8M2

デバイスNo.  
4

アウトレットNo.  
1

デバイス名称  
リブータ0004

アウトレット名称  
アウトレット0004-1

曜日を指定する    日付を指定する

月 火 水 木 金 土 日

時間を指定  
⌚ ---:-- ⌚

動作  
オン

有効/無効  
 有効

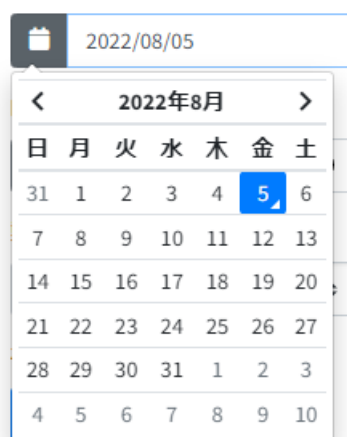
保存

- 登録情報 : リブータのMACアドレスが表示されます。
- 機種名 : リブータの機種名が表示されます。
- デバイスNo. : リブータのデバイスNo.が表示されます。
- アウトレットNo. : リブータのアウトレット番号が表示されます。
- デバイス名称 : リブータ登録で設定したデバイス名称が表示されます。
- アウトレット名称 : アウトレット登録で設定したアウトレット名称が表示されます。

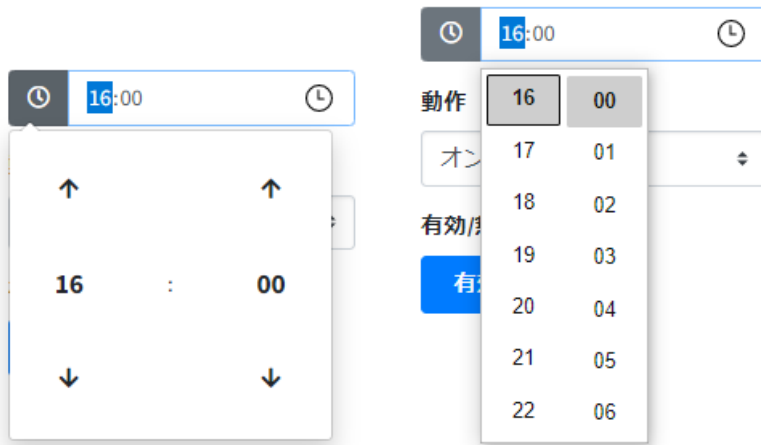
- 曜日を指定する : ラジオボタンクリックで曜日が表示されます。  
スケジュールを実行したい曜日をクリックしてください。



- 日付を指定する : ラジオボタンクリックで日付入力欄が表示されます。  
また、カレンダーマーククリックでカレンダーが表示されますので、カレンダー選択で日付を入力することができます。



- 時間を指定 : 時刻を入力します。  
時計マーククリックで選択して時間入力することができます。



- 動作 : オン・オフ・再起動を選択します。  
デフォルト オン  
仮想アウトレットについてはオンを指定してください。
- 有効/無効 : 有効・無効を選択します。  
デフォルト 有効  
無効の場合はスケジュールが実行されません。  
日付指定のスケジュールの場合、動作後は無効となります。

入力が終わりましたら、「保存」をクリックします。

追加したスケジュールは一覧で表示されます。  
無効のスケジュールはグレーで表示されます。



**注意** 同時刻に、個別アウトレットのスケジュールとグループのスケジュールが設定されている場合、動作は個別アウトレットのスケジュールが優先されますが、ログには両方のスケジュールが記載されます。

また、電源管理クラウド365のスケジュールとリブーターに設定したスケジュール

ルはそれぞれ独立して動作します。

電源管理クラウド365のスケジュールはサーバーの内部時計をもとに動作し、正確な時刻を保証しているものではありません。アウトレット動作を時刻合わせ等には使用しないでください。また、先の理由からサーバーの時刻とリブーターの時刻は若干のズレが発生している場合もあります。電源管理クラウド365のスケジュールとリブーターのスケジュールをそれぞれ設定する場合は、十分に間をあけて設定してください。

## (2) リブーター登録

リブーター管理画面で、編集を行いたいリブーターの歯車マークをクリックします。



## (1) リブーター登録



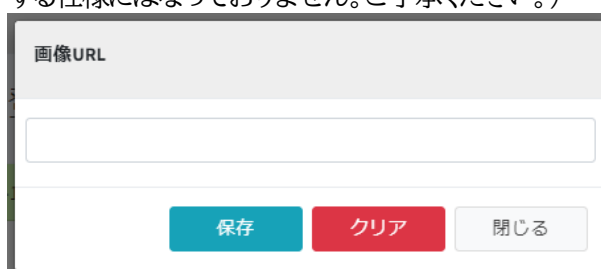
登録情報 : リブーターのMACアドレスが表示されます(変更不可)

機種名 : リブーターの機種名が表示されます(変更不可)

ファームウェアバージョン : [リブーターのファームウェアバージョン].[数字]  
末尾の数字はシステムデータバージョンです。  
(「リブーター管理」画面の「アップデート」ボタンでアップデートを実行し、成功するとこの数字が更新されます。)

デバイスNo. : リブーターのデバイスNo.が表示されます(変更不可)

- デバイス名称 : デバイス名称を登録することができます。  
デフォルト リポーター[デバイス番号]
- 使用切り替え : 「許可」で電源管理クラウド365からアウトレットの操作が可能になります。  
デフォルト 許可  
「許可」でダッシュボードに表示されます。  
「不可」のままでも、グループ登録やアウトレット登録の使用切り替えを許可に変更することはできますが、ダッシュボードには表示されず、電源操作を行うことはできません。なお、制限されるのは電源管理クラウド365からの操作のみで、リポーターからの電源制御は行うことができます。
- デバイスメモ : メモを入力することができます。
- 画像1～3 : 画像URLをクリックするとURL登録画面が開きます。  
表示したい画像をサーバーなどに格納し、そこへのURLを入力して保存をクリックすると画像が表示されます。(本サービスのサーバーに画像を格納する仕様にはなっていません。ご了承ください。)



入力が終わりましたら、「保存」をクリックしてください。



確認画面が表示されますので「はい」をクリックします。  
削除については<3><3>リポーター削除をご覧ください。

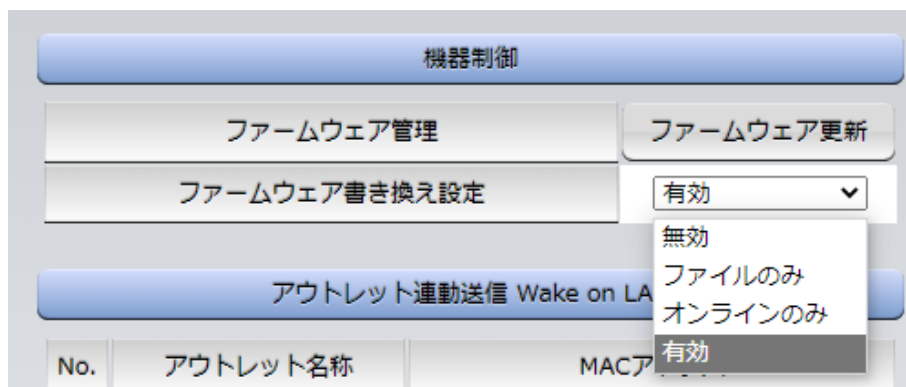
## 〈2〉 ファームウェアアップデート

リポーター個別のファームウェアアップデートを行うことができます。

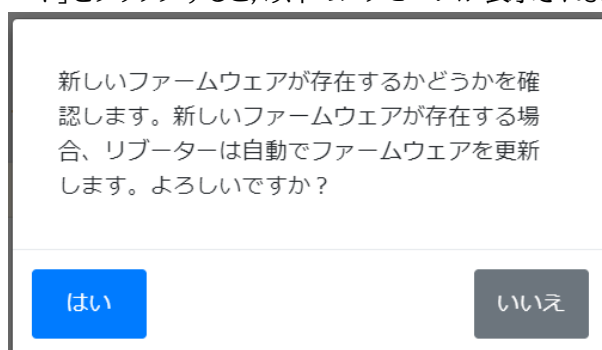
(「リポーター管理」画面の「アップデート」ボタンはシステムデータのアップデートです。こちらのボタンはリポーターのファームウェアのアップデートになります。今ご使用のファームウェアが最新である場合、このボタンは表示されません。)



電源管理クラウド365からのファームウェアアップデートを行う場合は、事前に、リポーターの設定で [システム設定]-[詳細設定]-[機器制御]のファームウェア書き換え設定を [有効] または [オンラインのみ] に設定してください。(リポーターのデフォルト値は [有効] です。)



[ファームウェアアップデート]をクリックすると、以下のメッセージが表示されます。



[はい]をクリックで、オンラインバージョンアップを行うことができます。

**注意** 正常に書き込みが完了すると、自動でリブーターのCPUリセットが行われます。CPUリセット時、アウトレットの電源状態は保持されますが、リブーターがRPCシリーズである場合、リブーターのイベントログは消去されます。(RSCシリーズはログを保持できます。)

### 〈3〉 リブーター削除

一度登録したリブーターの削除を行うことができます。

リブーターの初期化では登録が解除されることはありません

削除を行うと、電源管理クラウド365での管理・操作を行うことができなくなります。登録内容もすべて削除されますので、メンテナンス等で一時的に使用を中止したい場合は、「使用切り替え」を「不可」にしてください。

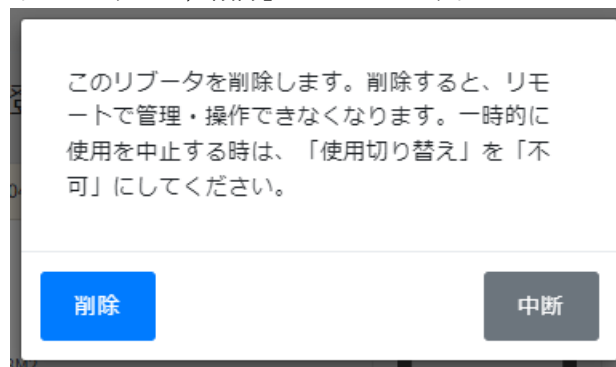
リブーター管理画面で、削除を行いたいリブーターの歯車マークをクリックします。



削除をクリックします。



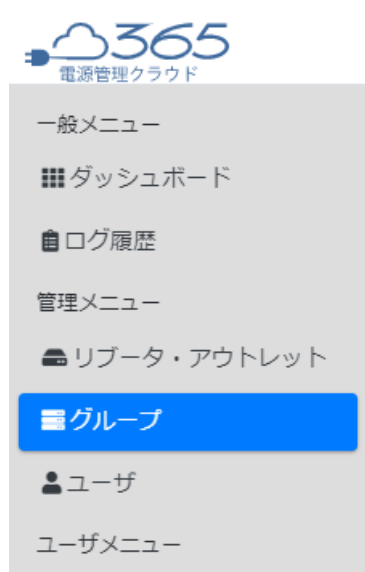
確認メッセージが表示されますので、「削除」をクリックします。



**注意** 1つのリポーターは、電源管理クラウド365の1つの契約内でのみ登録できます。

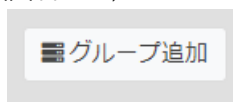
## [2] グループ

管理メニューのグループをクリックします。

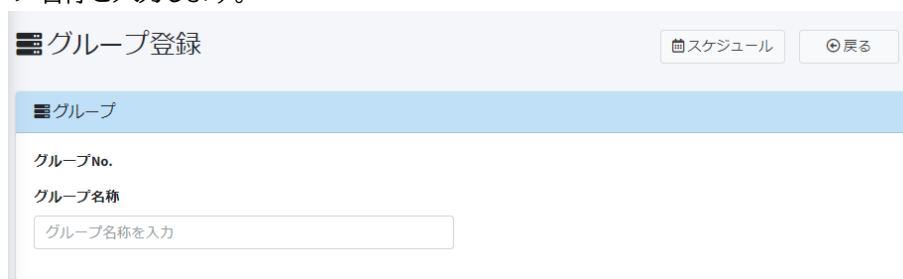


### (1) グループ作成

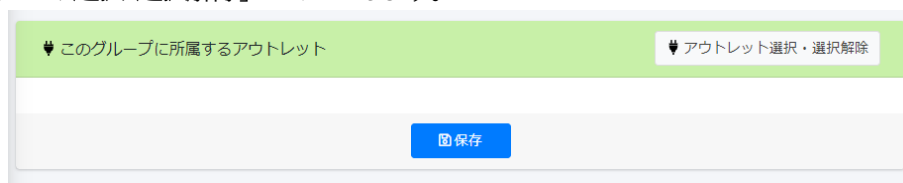
画面右上の、「グループ追加」をクリックします。



グループ名称を入力します。

The image shows a form titled 'グループ登録' (Group Registration). At the top right are two buttons: 'スケジュール' (Schedule) and '戻る' (Back). Below the title is a section header 'グループ' (Group). Underneath, there are two labels: 'グループNo.' (Group No.) and 'グループ名称' (Group Name). The 'グループ名称' label is followed by a text input field containing the placeholder text 'グループ名称を入力' (Enter group name).

「アウトレット選択・選択解除」をクリックします。

The image shows a section titled 'このグループに所属するアウトレット' (Outlets belonging to this group). To the right of the title is a button labeled 'アウトレット選択・選択解除' (Outlet Selection/De-selection). Below the title is a large empty area, and at the bottom center is a blue button labeled '保存' (Save).

アクティブされているリポーターのすべてのアウトレット類が表示されます。  
追加したいアウトレットをクリックしてください。



ひとつクリックして選択すると、違う種類のアウトレットは非表示になります。次の図では、アウトレットをクリックしたため、仮想アウトレットとPoEポートが非表示となっています。



同じグループにしたいアウトレットを選択して右上の「適用を選択」をクリックします。異なるリポーターも同じグループにすることができます。





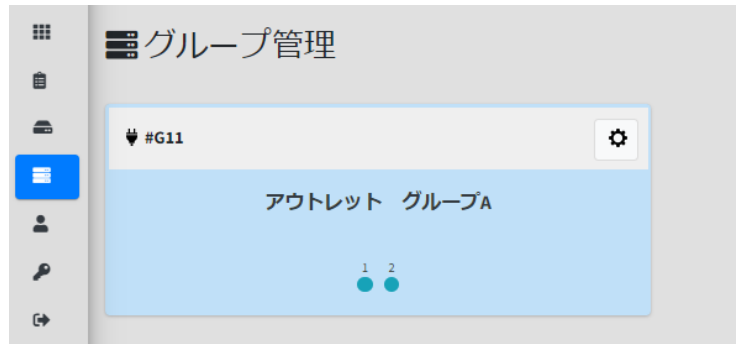
「保存」をクリックします。



確認画面が表示されますので「はい」をクリックします。



グループ管理画面にグループが追加されました。



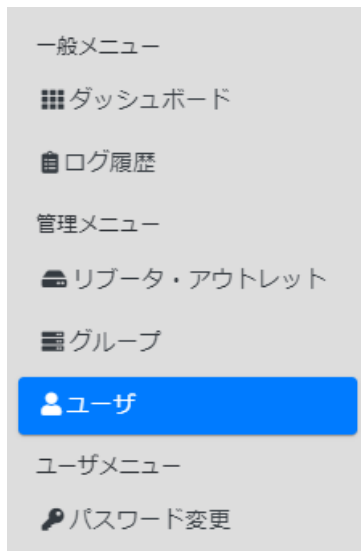
アウトレットのグループには、含まれているアウトレットの個数だけ数字とマークが表示されますが、このマークは電源状態を反映しません。

ダッシュボードにも同じようにグループが追加されます。

**注意** 異種の制御対象を同じグループにすることはできません。  
(アウトレットと仮想アウトレット、アウトレットとPoEポートなど)  
ひとつのアウトレットを複数のグループに登録することはできません。(他のグループに登録済みのアウトレット類は選択時に画面表示されません。)

### [3] ユーザー管理

管理メニューのユーザーをクリックします。



ユーザーの一覧が表示されます。

The screenshot shows the 'ユーザー管理' page with a table of users. The table has columns for 名前, メールアドレス, 権限, 最終ログイン日時, 編集, and 削除. There are also buttons for CSV取込 and ユーザー追加.

名前	メールアドレス	権限	最終ログイン日時	編集	削除
明京太郎	meikyoutaro@company.com	一般	2022/08/05 16:53:10	編集	削除
田中太郎	tanachitaro@company.com	管理者	2022/08/05 16:48:32	編集	削除
佐藤花子	sawatenako@company.com	代表管理者	2022/08/08 11:44:59	編集	
山田一郎	yamadaichiro@company.com	管理者	2022/08/03 11:17:18	編集	削除

ユーザーの追加, 編集, 削除はこの画面から行うことができます。

### [4] ユーザー追加

#### (1) ユーザー追加

右上の「ユーザー追加」をクリックします。



ユーザー登録

ユーザー登録

ID

最終ログイン

名前  
この項目は必須です。  
名前を入力

権限  
一般

メールアドレス  
メールアドレスを入力

パスワード  
この項目は必須です。  
半角英数字8桁以上

途絶メール  
通知

異常メール  
通知

ログイン通知メール  
通知

保存

- 名前 : 名前を入力します。
- 権限 : 一般・管理者 から選択します。(デフォルト 一般)  
代表管理者は1名のみです。代表管理者追加はできません。代表管理者変更をご希望される場合は、弊社までご連絡ください。
- メールアドレス : メールアドレスを入力します。
- パスワード : パスワードを半角英数字8桁以上で入力します。



クリックでパスワードの表示・非表示を切り替えます。



クリックでパスワードを自動生成します。

- 途絶メール : 通知・非通知 を切り替えます。(デフォルト 通知)
- 異常メール : 通知・非通知 を切り替えます。(デフォルト 通知)
- ログイン通知メール : 通知・非通知 を切り替えます。(デフォルト 通知)
- メール通知につきましては第4章[1]メールによる通知をご覧ください。

入力が完了しましたら「保存」をクリックします。

## (2) CSV取込

CSV取込をクリックします。

明京太郎

ユーザー管理

CSV取込

ユーザー追加

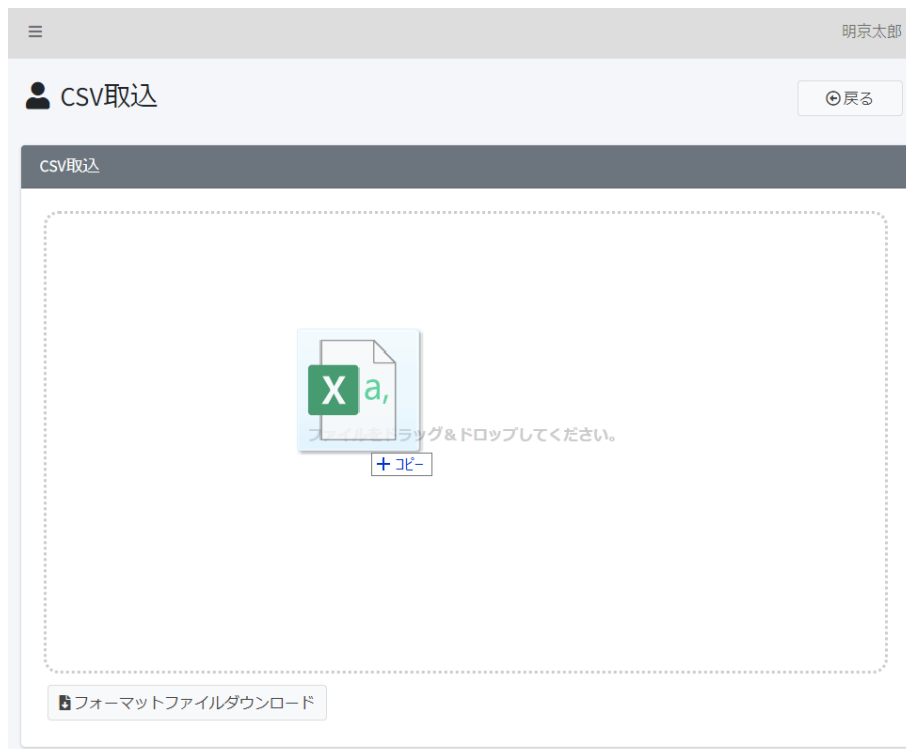
ユーザー一覧

名前	メールアドレス	権限	編集	削除
----	---------	----	----	----

右下のフォーマットファイルダウンロードをクリックします。



ダウンロードしたファイルに、名前、権限、メールアドレス、パスワードを入力し、CSV形式で保存します。保存したファイルをCSV取込の点線エリア内にドラッグ&ドロップしてください。



取込が完了しましたら、ユーザー管理画面が開きます。正しく登録されているか確認してください。

名前	メールアドレス	権限	編集	削除
明京太郎	[REDACTED]	代表管理者	編集	削除
明京次郎	jirou@meikyo.com	一般	編集	削除
明京花子	[REDACTED]	管理者	編集	削除

3件中1~3件を表示

前 1 次

CSVファイルにおいて、次に示すようなデータがありますと、取込は行われず、エラーメッセージが表示されます。修正してから再度取り込んでください。

- ・契約ユーザー数を超えるユーザーの取り込み
- ・未入力のデータがある
- ・登録済みの名前やメールアドレスが含まれている
- ・使用できない文字が含まれている
- ・権限の列に「管理者」「一般」以外の文字を入力している
- ・データ範囲外のセルにデータが入力されている

## [5] ユーザー情報変更

ユーザー管理画面で、編集するユーザーの編集ボタンをクリックします。

名前	メールアドレス	権限	最終ログイン日時	編集	削除
明京一郎	ichiro@meikyo.com	管理者		編集	削除
明京太郎	[REDACTED]	代表管理者	2022/12/08 14:16:49	編集	削除
明京次郎	jirou@meikyo.com	一般		編集	削除
明京花子	hanako.meikyo@gmail.com	管理者	2022/11/21 15:58:28	編集	削除

ユーザー登録画面が開きますので、変更後に「保存」をクリックします。

パスワードの変更を行わない場合は、必ずパスワードの欄は空欄にて保存してください。

ユーザーが次項[4]のパスワード変更を行った場合、変更したパスワードはこちらの画面には反映されません。削除せずに保存すると、初期に設定したパスワードに変更されたり、意図しないパスワードに変更されたりする場合があります。

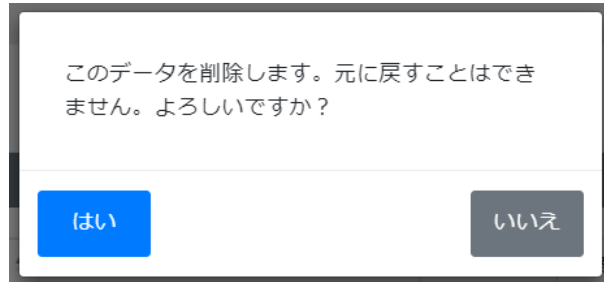
確認画面が表示されますので「はい」をクリックします。

## [6] ユーザー削除

ユーザー管理画面で、削除するユーザーの「削除」ボタンをクリックします。

名前	メールアドレス	権限	最終ログイン日時	編集	削除
明京一郎	ichirou@meikyo.com	管理者		編集	削除
明京太郎	meikyo@meikyo.com	代表管理者	2022/12/08 14:16:49	編集	削除
明京次郎	jirou@meikyo.com	一般		編集	削除
明京花子	hanako.meikyo@gmail.com	管理者	2022/11/21 15:58:28	編集	削除

確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



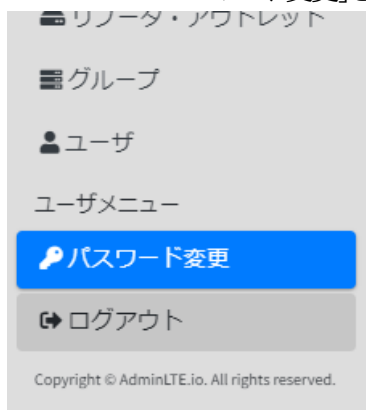
A confirmation dialog box with a white background and a dark border. The text inside reads: "このデータを削除します。元に戻すことはできません。よろしいですか？" (Delete this data. It cannot be restored. Is it all right?). At the bottom, there are two buttons: a blue button on the left labeled "はい" (Yes) and a grey button on the right labeled "いいえ" (No).



## 4. ユーザーメニュー

### [1] パスワード変更

ユーザーの種類にかかわらず、自分のパスワードを変更することができます。  
ユーザーメニューの「パスワード変更」をクリックします。



パスワード変更画面が開きます。

A screenshot of the 'パスワード変更' (Change Password) form. The form has a title 'パスワード変更' with a key icon. It contains two input fields: '現在のパスワード' (Current Password) with a placeholder '現在のパスワードを入力' and '新しいパスワード' (New Password) with a placeholder '半角英数字8桁以上'. To the right of the new password field are two icons: an eye with a slash (toggle visibility) and a key (generate password). A blue '保存' (Save) button is at the bottom right.

現在のパスワード : 現在のパスワードを入力します。

新しいパスワード : 新しいパスワードを入力します。  
使用できる文字は、半角英数字と . / , : + - \_ ! ? % \* = @ です。



クリックでパスワードの表示・非表示を切り替えます。



クリックでパスワードを自動生成します。

入力を行ったら、「保存」をクリックします。

確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



注意 代表管理者, 管理者は, このメニューから変更したパスワードを確認することができません。ユーザーメニューの「パスワード変更」を行ったのちにパスワードを紛失した場合は, 代表管理者, 管理者にパスワードの再設定を依頼してください。

代表管理者がユーザーメニューの「パスワード変更」からパスワード変更を行ったのち, パスワードを紛失した場合は, 弊社宛に再設定をご依頼ください。

## [2] 二段階認証

### (1) 概要

ログイン時のセキュリティ向上のため、「Google Authenticator」アプリ(以下、「Google認証アプリ」)を使用した二段階認証プロセスを設定することができます。

二段階認証を有効にすると、電源管理クラウド365にログインする都度、ID、パスワードを入力した後に、Google認証アプリに表示された認証用の確認コードを入力する必要があります。



The image shows a login interface for '電源管理クラウド 365'. At the top, there is a logo with a cloud and a plug, and the text '電源管理クラウド 365'. Below the logo, there is a white box with a blue border containing the following text: '二段階認証', '確認コードを入力してください。', and '確認コード' followed by an input field. At the bottom of the box, there are two buttons: '確認' (blue) and 'リカバリーコード' (grey).

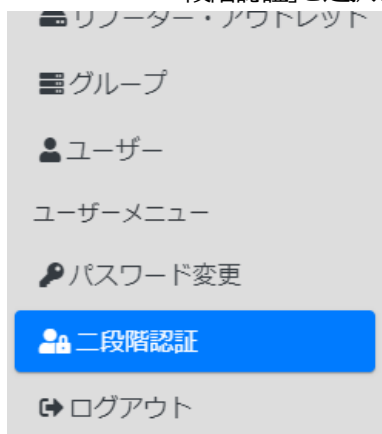
**注意** 二段階認証を行うためには、Google認証アプリがインストールされた、スマートフォン等のデバイスが必要となります。

デバイスの不具合等に備えて、後述するリカバリーコードを必ず控えてください。認証システムが使用できず、かつリカバリーコードが不明な場合は対象ユーザーをいったん削除し、再登録する必要があります。代表管理者、管理者にその旨、お知らせください。

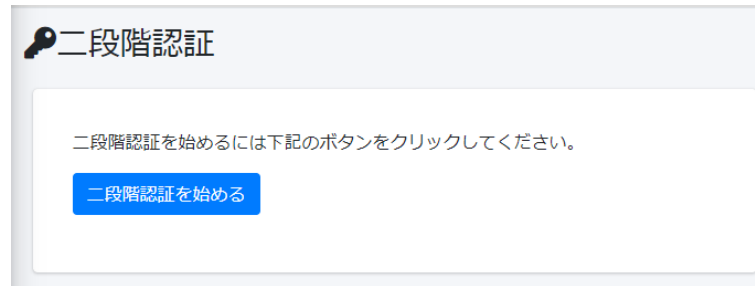
代表管理者の二段階認証を解除するには、弊社にご連絡ください。

## [3] 設定方法

ユーザーメニューの「二段階認証」を選択します。



[二段階認証を始める]をクリックします。



画面の表示に従って、スマートフォン等のデバイスに認証システムのインストールを行ってください。



インストールを行いましたら、デバイスの認証システムを開きます。  
二次元コードをスキャンし、表示された確認コードを入力し、[確認]をクリックしてください。



二段階認証が既に有効になっている場合は、以下のメッセージと、再追加用のQRコード、[リカバリーコードを表示する]ボタンが表示されます。



#### [4] リカバリーコード

リカバリーコードは、認証アプリや、インストールしたスマートフォン等のデバイスが使用できなくなった際など、緊急の際にログインするためのコードです。二段階認証の設定を行いましたら、必ず[リカバリーコードを表示する]をクリックし、表示されたリカバリーコードについて、すべて控えを取ってください。

なお、1つのリカバリーコードにつき1度だけコードを使用できます。2回目からは「入力された確認コードが正しくありません。」と表示され、同じコードは使用できませんのでご注意ください。

#### [5] 二段階認証の中止

二段階認証を中止する場合は、[二段階認証を中止する]をクリックしてください。次回ログイン時より、二段階認証の画面が表示されなくなります。

**注意** 改めて二段階認証を有効にする場合、以前に認証システムのアプリケーションに登録した電源管理クラウド365のアカウント情報をそのまま使用することはできません。再度、認証システムでQRコードを読み込む必要があります。

## [6] ログアウト

ログアウトをする際は、ユーザーメニューの「ログアウト」をクリックしてください。



電源管理クラウド365のログイン画面が表示されます。



**注意** 使用後は必ずログアウトしてください。

本サービスでは一般ユーザーの場合、ログインから30分後に自動的にログアウトします。(代表管理者・管理者ユーザーは自動ログアウトしません。) またどのユーザー権限でも、同一IDで複数端末を使用してログインした場合、最後にログインした端末が有効となり、それ以前にログインしていた端末は自動的にログアウトとなります。

## 第3章

### 通知仕様

## [1] メールによる通知

電源管理クラウド365には、HTML形式のメールによる通知機能があります。

- ・全ユーザーに送信されるが、通知・非通知の設定が可能なメール(デフォルト 通知)
  - 途絶メール :リポーターが途絶した場合、解消した場合にメール送信されます。
  - 異常メール :リポーターに異常が発生した場合、解消した場合にメール送信されます。
  - ログイン通知メール:自身のアカウントにログインがあった場合に送信されます。

ユーザー権限によるメール内容の違いはありません。

通知・非通知に切り替えは、代表管理者、管理者のみ行うことができます。



## お問い合わせ先

### 明京電機株式会社

〒114-0012 東京都北区田端新町1-1-14

東京フェライトビル4F

TEL 03-3810-5580 FAX 03-3810-5546

ホームページアドレス

<https://www.meikyo.co.jp/>

## ご注意

- (1)本書およびサービスの内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
- (2)本書およびサービスの内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書およびサービスの内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4)本サービスを運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5)本サービスおよび弊社リポーターがお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または弊社および弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6)弊社リポーターに関して指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

電源管理クラウド 365 代表管理者, 管理者ユーザー編

取扱説明書 2023年 2月 第1.0版

著作権所有 明京電機株式会社